

「猫による被害にお困りの方へ」



猫には犬のような登録制度や法的な放し飼いの制限がないため、保健所を含め、公的機関による猫の駆除や捕獲は行っていません。そこで、猫の被害の軽減に比較的效果があると思われる方法を紹介します。

🐾 忌避剤

市販の忌避剤	ペットショップや薬局、ホームセンターで販売。
香りの強いハーブなどの植物を植える	猫の嫌がる香りのハーブを植えるか、鉢植えを猫の通り道に置く。 あるいはハーブの香料を置く。 注：ユーカリ・ゼラニウム・ローズマリー・レモングラス・柑橘系・ペパーミント・タマネギ・ニンニク・マリーゴールドなど
木酢液	園芸用肥料としてホームセンター等で販売。 容器に入れるか、スポンジや布に浸み込ませて置く。
竹酢液を加工	竹酢液(園芸用肥料としてホームセンター等で販売)を加工して撒く。 作り方：竹酢液 約400mlに唐辛子 10~15本、レモンバーム葉 20~30枚を500mlの空のペットボトル容器に入れ、1日から2日後に取り出す。4倍から8倍に薄めて使う。 (臭いが強い場合は10倍位まで薄める。)
生ニンニク	細かくきざんで撒く。ネットに入れてつるす。
唐辛子	細かくきざむか粉末状のものを撒く 注：アリが食べてしまうことがある。
香辛料	コショウ、カレー粉等を通り道やフンをする場所に散布する。
米のとぎ汁	とぎ始めの濃い汁を毎日撒く。
ミカンなどの皮	柑橘系の皮を撒く。注：乾燥してしまった場合の効果は不明 柑橘系の香りのする薬品を置く。
食用酢	容器に入れるか、スポンジや布に浸み込ませて置く。 2倍から10倍程度に水で薄めたものを毎日噴霧。
重曹	撒いたり、土に混ぜ込むことで、猫のにおいを消すことができる。

注：これらの他に、市販品が園芸店、ホームセンター、ペットショップ、スーパー等で販売されています。

構造物

水を撒く	ホースでたっぷり水を撒く。(注：猫は水を嫌う)
砂利(軽石)	大きめの砂利を敷き詰める。軽石(中玉の大きさ)は安価で効果も大きい。花壇の場合は直径 1cm 程度の軽石が混じった観葉植物用の土を敷くのもおすすめ。
大きな石	物理的に歩けなくなる位置に石を置く。
松ぼっくり	猫が歩くところに敷き詰める。
枯れ枝	球根や種が植えているところに敷き詰めると掘り返さない。
灰などを撒く	ホームセンターや園芸店で販売されている。 園芸用の石灰や炭粉などを撒く(注：足につき、猫が嫌がる)
目の細かい網	敷くと爪がひっかかり歩きにくい。
アルミホイル	敷くと足音がするので歩きにくい。
物質的妨害	トレリス(ガーデニング用の木製の柵)を倒して置いておく。
ネットや柵	乗り越えられない高さ(1.5m ほど)の網、柵で囲うか、進入路をふさぐ。
テグス	釣り糸などのテグスを猫の足がひっかかる高さになるように、侵入口や通路に張る。釣り糸は猫の目に見えないので、何かが入るの嫌がる。

追い払う

水鉄砲等	猫は水で濡れることを嫌うので、追い払うことができる。 注：柑橘系の匂いを含んだ水だとさらに効果的と言われている。 注：散水式ホースを設置しておいて、猫を見かけたら水を出すか、あるいはセンサー式感知式で自動放水する製品が販売されている。(効果不明)
ブザー	遠隔操作式のものやセンサー付きのものが防犯コーナーに販売されている。猫が通過するときに鳴らすと警戒して近寄らなくなる。
超音波機器	センサー感知式の超音波発生器。 注：猫の個体差で反応が鈍い場合がある。また、猫が慣れてしまう場合があり、費用対効果を考える必要がある。

注：上記の方法で、個体差もあり、あまり反応しない猫もいるので効果を保証するものではありません。また、方法によっては効果が長続きしない場合や、反復継続することが必要な場合があり、猫が慣れて反応しなくなる場合もあります。

猫を飼っている方へ

① 猫は屋内で飼いましょう

猫を屋外で飼うことは、近隣に迷惑をかける場合があるほか、迷子、交通事故、感染症、猫同士のケンカなど猫にとっても危険がたくさんあります。

② 不妊去勢手術をしましょう

繁殖を望まない場合には、メスには不妊手術、オスには去勢手術を必ずしましょう。猫の妊娠率はほぼ100%で1年に1~3回出産し、一度に2~8匹産み、あっという間に増えてしまいます。また、不妊去勢手術をすることによって、発情期の鳴き声、ケンカ、オシッコの匂いが緩和されます。

③ 飼い猫を捨てないでください

一度飼い始めたらその命を終えるまで飼いつける覚悟が必要です。飼育することが難しくなった場合は、責任をもって新しい飼い主を探してください。

【事務局】大石田町役場まちづくり推進課

生活安全グループ

電話：35-2111 (内線225)